

第71回高松宮記念杯競輪 開催要綱より抜粋

第9 参加選手数及び選抜方法

1. 参加選手数

正選手 S級 108名（東日本地区 54名、西日本地区 54名）

補欠選手 S級 10名（東日本地区 5名、西日本地区 5名）

開催2日前までに正選手に欠場がある場合、地区ごとに第71回高松宮記念杯競輪出場選手選考順位順に補欠選手より補充し、残りは予備選手とする。

2. 選抜方法

第71回高松宮記念杯競輪開催時にS級に在籍し、品性、技能ともに優秀な選手を東・西日本の地区に分け、次の基準により選手選考委員会において選抜する。

なお、この場合の東・西日本地区の区分は、次のとおりとする。

*東日本地区 北海道、東北地区及び関東甲信越静地区に在籍する選手。

*西日本地区 東海・北陸地区、近畿地区、中国・四国地区及び九州地区に在籍する選手。

(1) 正選手の選抜方法

- ① S級S班在籍者。
- ② 高松宮記念杯競輪に3回以上優勝した者（開催時S級1班に在籍する者）。
- ③ 東京オリンピック自転車競技トラック種目代表選手
- ④ 選手選考対象期間において2ヶ月以上JCFトラック種目強化指定（A）に所属した者（開催時S級1班に在籍する者）。
- ⑤ 2019年10月から2020年3月までの期間（以下「選考期間」という。）における平均競走得点上位者。

(2) 補欠選手の選抜方法

(1)に準じ、順次選抜する。

(3) 特別選抜予選競走に出場する選手の選抜方法

正選手のうちから、次の基準により各地区9名に達するまで順次選抜する。

① S級S班在籍者。

② ①を除く選考期間における平均競走得点上位者。

なお、欠場があった場合は、基準に準じ地区ごとに一次予選競走出場予定選手から繰り上げる。

(4) 選考期間における平均競走得点が同点だった場合の取り扱い

選考期間における平均競走得点が同点だった場合は、同期間における選考用賞金獲得額の上位者を上位とする。